

## 取組個票①5年間の取組全体概要

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| ①取組名          | 取組06  | バイオガスネットワークによるエネルギー循環システムの整備              |
| ②対応する目標・課題    | 低炭素・省エネルギー  |   |
| ③対応する評価指標・目標値 | ■評価指標:再生可能エネルギーの導入量   | ■目標値:0.3GJ/年(H17年度)⇒1,217,891 GJ/年(H42年度) |
| ④取組内容         | エコタウン産業団地の食品廃棄物処理事業等で発生するバイオガスを市内の立地企業がエネルギー源として利用するためのパイプライン(バイオガスネットワーク)を敷設することにより、バイオガスの有効利用による産業活動の高度化と資源循環型産業の振興を図る。                   |   |
| ⑤エリア          | エコタウン産業団地、及び近傍の民間企業   |   |
| ⑥主体           | 民間事業者   |   |
| ⑦活用した国等の制度    | 地球温暖化対策技術開発・実証研究事業(環境省)〈H24~25年度〉   |   |
| ⑧地域の関与        | 【実績】・取組に対する地元企業の負担  |   |
| ⑨スケジュール       |   |   |
| 23年度          | 供給用配管の敷設、バイオマスボイラーの導入   |   |
| 24年度          | 技術開発・実証研究事業、新規の接続場所の検討  |   |
| 25年度          | 技術開発・実証研究事業、新規の接続場所の検討  |   |
| 26年度          | 技術開発・実証研究事業の検証及び実用化に向けた調査検討、新規の接続場所の検討  |   |
| 27年度          | 技術開発・実証研究事業の検証及び実用化に向けた調査検討、新規の接続場所の検討  |   |
| 28年度          | 技術開発・実証研究事業の検証及び実用化に向けた調査検討、新規の接続場所の検討  |   |
| 29年度以降        | 技術開発・実証研究事業に基づく実用化、供給用配管の敷設、バイオマスボイラーの導入  |   |
| ⑩他の取組との連携     | 取組名:バイオマスを使った自律型エネルギー・資源循環システムの導入<br>連携内容:藻類から得られるバイオガスをネットワークに組み込むことにより、より効率的な循環システムを構築する。   |   |
| ⑪自立・自律の方針・目標  | ●再生可能エネルギービジネスの振興<br>行政が調整等の支援を行い、事業運営は民間が主体となることで、公民の役割分担による再生可能エネルギーのビジネスモデルとなることを目指す。ビジネスモデルとして確立した後は、事業範囲(供給)の拡大やバイオガスを生産する他の施設へ拡大を目指す。 |   |